

年末年始に七面山参詣をしました。

産業開発青年隊同窓会長 鈴木 浩明

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は、コロナコロナで、コロナに振り回されて、大変な一年であったと思います。今年こそは、皆様方にとっても、私にとっても、素晴らしい一年にしたいと思います。

さて、年末年始に、行軍訓練でおなじみの七面山に、参詣をしてきました。今年、わたくしは、前厄ですので、一年の厄払いと、青年隊同窓会の発展を祈念したいと思い、今までしたことがありませんでしたが、大晦日、元旦にかけての七面山参詣をしてまいりました。

七面山は、日蓮宗の総本山、身延山の裏鬼門を守る山で、古くは、修験道の修行の地であり、頂上にある、一ノ池には、池大神が祭られていたそうです。

そしてこの一の池には、竜神が住まれ、身延で説法をしていた日蓮聖人に教化され、法華経の行者の守護神とされたそうです。

また、江戸時代、徳川家康公の側室、養珠院お万の方様が、女人禁制の七面山を初めて女人として参詣されました。七面山の登り口にある白糸の滝で、一週間滝行をとられ、身を清めて参詣されたそうです。養珠院お万の方の子息は、水戸徳川家、紀州徳川家の祖師となられ、徳川300年の礎となられた方々です。

七面山は、これらのことを総じて考えてみると、聖なる山で、大いなる力の宿る山であると思います。

また法華経の方便品第二には、十如是の教えが書かれています。如是相、如是性、如是体、如是力、如是作、如是因、如是縁、如是果、如是報、本末究竟等と三回唱えます。

私なりに考えてみますと、人間に置き換えてみると、人には、容姿、性格、性質、形があり、それは、他のものに対して、影響を与えたり受けたりする。それには、原因があり、縁によって結果として現れる。そして結果だけでは終わらずに、報いとなってさらに影響を与えるものであるということではないでしょうか。

人は、この世の中に、目に見えぬ縁を授かり、誕生しているはずであり、私たちの生まれる前には数多くの命があり、この命も懸命に生きてきたはずです。そして、様々な影響を受けながら、次の世代に様々なことを託しているのだと思います。

私たちが、生きるということは、その背中に、多くの期待や、願望を背負っているということではないでしょうか。

私たちが生きるということは、単に個人が生きるということではなく、過去に生きた方々の思いを背負いながら生きているということであり、粗末にできぬものであると考えます。

私たちは、縁あり、長澤亮太先生の大きな理念の教育を受け、長澤先生の思いを背負っているということではないでしょうか。

そして、私なりに考え付いたことが今回の七面山の参詣です。

まず、七面山登山口にある、白糸の滝に向かい、徳川家康公側室、お万の方様と同じく、滝行をとり、身を清めました。すがすがしい気持ちで、出発です。

約五時間かけて、50七面山敬慎院に到着です。別当や、山務の方々のお出迎えを受け、宿泊所に移動。この時、トイレに入り、気温を見ると、マイナス5℃でした。

夕食をいただき、夜のお勤めになりました。七面大明神のいらっしゃる内陣にて2時間程度お勤めを受けましたが、とにかく寒かったです。お勤めが終わった後、外に出てみて、外気温を見てみると、マイナス15℃でした。寒いはずですが。

翌日、朝のお勤めを受け、その後、ご来光を拝みましたが、残念ながら、スマホの電池が放電しており、写真を撮ることができませんでした。真っ赤な素晴らしいご来光が、富士山と駿河湾の間から昇ってきました。

そして、下山し、再度、白糸の滝に戻り、滝行をして全ての行程を完了しました。

白糸の滝は、寒さで凍っており、その中に入っての滝行は、きついものでしたが、やり切ったという充実感で、いっぱいでした。

人生の一つの区切りを、自分なりに考え、行動してみました。

本年もよろしく願いいたします。



七面山の1丁目登り口。 正月のたたずまいです。



懐かしい方々の名前があります。大映で日蓮という映画を撮った時の記念だと思えます。永田雅一さんは、大映の当時の社長だと思えます。



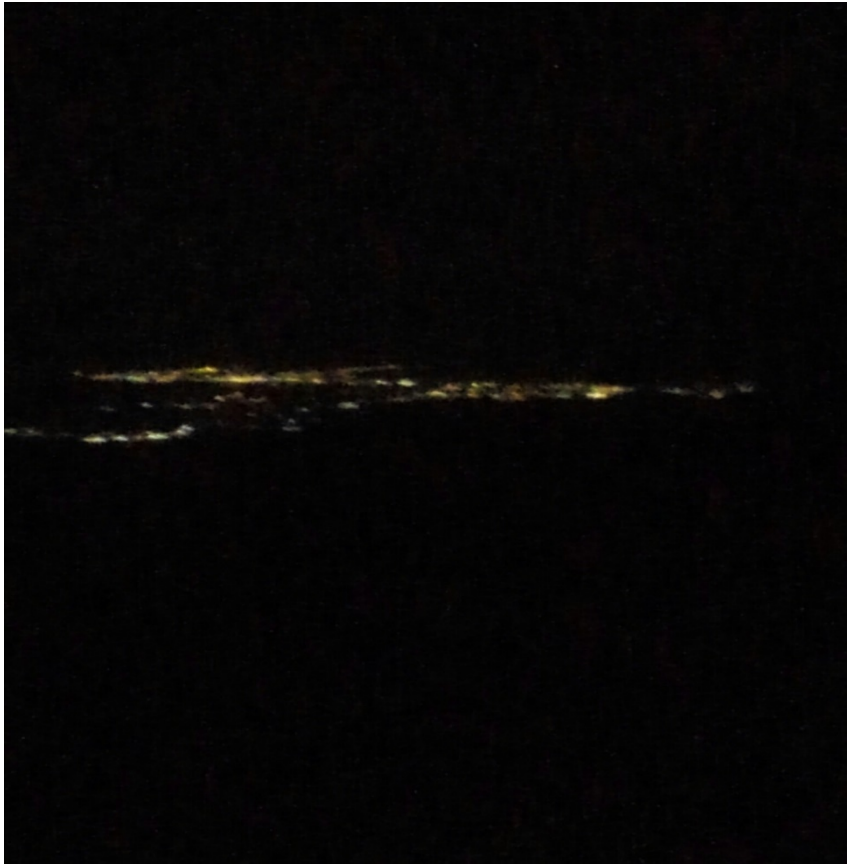
宿坊の中の一室。ここに泊めていただきました。



夜の七面山敬慎院。マイナス15℃です。



雪だるまがお出迎えです。



駿河湾側の夜景です。



甲府側の夜景です。



大晦日は凍っていなかったのですが、一日で凍りました。水はそれほど冷たいと感じませんでしたが、滝つぼの氷が刺すように痛かったです。

滝行を終え、無事七面山参詣を終えることができました。すがすがしい気持ちでいっぱいです。